

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携

当社は、創業来、社長が掲げる『五方よし』（※）の経営スタンスに基づき、取引業者の皆様と共存共栄を図るため、CS向上や技術的なサポートを目的に、取引業者の皆様と定期勉強会を開催し、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組んでおります。

※近江商人の「三方よし」（売手・買手・世間よし）に、「社員よし」と「取引業者の皆様よし」を加えた考え方

b. IT実装支援

当社は、施工管理アプリを導入し、的確かつ迅速なコミュニケーション、業務日報や施工完了報告のタイムリーな実施、現場写真や図面等の情報共有、請求処理に連動させることで取引業者の皆様が行う事務負担の軽減等、取引業者の皆様との連携強化・建築現場の作業効率化に注力しています。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は原則現金で支払います。

③知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドラインや契約書のひな形に基づいて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

社長は、「当社に関わりのある全ての人たちが幸せにならないと、事業はうまくいかない」という理念のもと、取引業者の皆様との強い絆を大切にしながら、“存続と発展”を目標に、経営に取り組んでいます。

2023年6月1日

株式会社ファイブズホーム

代表取締役社長 細井 保雄